

板橋区生活状況に関する調査

ご協力のお願い

日頃より板橋区政へご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この調査は、ひきこもりの状態にある方やそのご家族が抱える生きづらさ、社会とつながることへの不安・悩みに対し、寄り添った支援を考えていくために行う調査です。

いただきましたあなた様の声は、今後の区のひきこもりの支援施策に活用させていただきます。

本調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- ・本調査は、**無記名で回答**いただくものです。(個人情報収集いたしません)
- ・回答内容は、**回答者個人を特定せず**、すべて統計的に取り扱い、他の目的に使用することはありません。
- ・本調査結果は、**個人名や個人が特定される回答内容は一切公表しない**かたちで報告書にとりまとめ、区ホームページ等にて公開する予定です。

本調査は、「調査票による回答」と「インターネットでの回答」のどちらか一方でご回答ください。

「インターネットでの回答」方法は、裏面をご参照ください。

調査票による回答

令和4年10月7日(金)までに、記入済みの調査票を、同封の返信用封筒に入れて、ご投函ください。(切手貼付不要)

※ 本調査の回収・集計等は、板橋区から株式会社 CCN グループに委託しているため、返信用封筒の宛先は、同社宛てになっています。

【調査実施機関】 回答方法に関するお問い合わせ

株式会社 CCN グループ 社会環境調査事業部
電話 03-6262-9713 (平日 9:00-17:00)

【調査主体】 板橋区福祉部生活支援課 ひきこもり対策担当

電話 03-3579-2387 (平日 9:00-17:00)

ホームページ <https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kenko/fukushi/1040357.html>

※ 本調査の内容と、調査終了後に調査報告書をご覧いただけます。

記入要領

- 1 ご記入は、鉛筆または黒・青のペン・ボールペンをご使用ください。
- 2 調査票・返信用封筒ともに、お名前・ご住所を記入する必要はありません。
- 3 回答は、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでください。
○をつける数は、(○はひとつだけ)・(○はいくつでも)等、設問ごとの指示に従ってください。
- 4 質問番号順にお答えください。設問の中には、一部の選択肢を選んだ方にだけ、お聞きする設問もあります。その場合は、矢印(→)や説明文の指示に沿ってお答えください。
- 5 ご自分の考えが選択肢の中にない場合は、「その他()」の選択肢番号を○で囲み、()の中へ具体的にご記入ください。
- 6 「答えるのが難しい」「答えたくない」と感じる設問があった場合、その回答は省略して進めるなど、ご無理のない範囲でお答えください。

インターネットでの回答方法

パソコン、スマートフォンから回答できます。

下記「URL」をインターネットアドレス欄に直接入力、または、「二次元コード」を読み取り、回答ページにアクセスし、下記の「ID」と「パスワード」を入力後、ご回答ください。

回答は中断、再開が可能です。再開時はID、パスワードを入力いただきますと、最後に回答したページから再開できます。

URL : <https://rsch.jp/d17cd6b45e2ade20/login.php>

ID : XXXXXXXX

パスワード : XXXXX



選択肢の中から当てはまる選択肢の番号を選択し、「次へ」をクリックしてください。
すべての回答が終わりましたら「回答内容」を確認し、「送信」ボタンを選択してください。「回答完了」の画面が表示されましたら、回答は終了です。

回答期限 令和4年10月7日(金)23時59分までにご回答ください。

注意事項

- ・ブラウザ、スマートフォンの「戻る」機能は使えません。
- ・通信サービスの接続料金は、回答者様の負担となります。
- ・回答を「送信」すると再回答はできません。回答送信前に内容のご確認をお願いします。

【Q1～Q6はすべての方がお答えください。】

Q1 あなたの性別をお答えください。(Oはひとつだけ)

- | | | |
|------|------|-------------------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 わからない・どちらともいえない |
|------|------|-------------------|

Q2 あなたの年齢をお答えください。(数字で具体的に)

--	--	--	--	--	--

歳

Q3 現在、あなたと同居している方にOをつけてください。(Oはいくつでも)

- | | | |
|---------|-------------|---------|
| 1 一人暮らし | 4 きょうだい | 7 子 |
| 2 父 | 5 祖父母 | 8 孫 |
| 3 母 | 6 配偶者・パートナー | 9 その他の人 |

Q4 ふだん、あなたが楽しみに思っていること、やりがいを感じることを教えてください。

(Oはいくつでも)

- | | |
|-----------------------|------------------------------------|
| 1 テレビをみること | 8 インターネットを介した交流サイト、SNS・LINEなどのチャット |
| 2 インターネット上の動画や情報を見ること | 9 音楽を聴くこと |
| 3 本や漫画を読むこと | 10 趣味の活動 |
| 4 調べたり、学んだりすること | 11 その他 |
| 5 飲食すること | 〔 具体的に： 〕 |
| 6 ゲームをすること | |
| 7 散歩、スポーツ、体操など体を動かすこと | |

Q5 あなたが感じている不安や危機感として、どのようなものがありますか。(Oはいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|----------------------------|
| 1 近い将来(5年以内)の収入・生活費など経済的なこと | 10 学業や学校 |
| 2 比較的遠い将来(6～10年後)の収入・生活費など経済的なこと | 11 困った時に相談したり、頼れる関係性の人がいない |
| 3 家族の高齢化、介護・看護 | 12 結婚や恋愛問題 |
| 4 家事や身の周りのこと | 13 自分の生き方や生きがい |
| 5 自分の健康 | 14 孤立や孤独死 |
| 6 家族の健康 | 15 自分に対して自信がない |
| 7 家族との関係 | 16 その他 |
| 8 友人や仲間との人間関係 | 〔 具体的に： 〕 |
| 9 就職や仕事 | |

Q6 現在、あなたのご家族（ご自身を含む）に、ひきこもりの状態（様々な要因により、社会的参加（就学、就労、家庭外での交遊など）を避け、概ね家庭にとどまり続けている状態）の方はいますか。（○はひとつだけ）

1 いる	2 現在はいないが、過去にひきこもりの状態だった者がいる	3 いない
------	------------------------------	-------

→ 5ページのQ20へ

【Q6で「1～2」に○をつけた方のみ、Q7～Q19にお答えください。】

【回答者を「あなた」、ひきこもりの状態にある方を「ご本人」としてお答えください。】

※ 過去にひきこもりの状態であった方は、当時の状況についてお答えください。

Q7 あなたからみたご本人の続柄に○をつけてください。（○はひとつだけ）

1 本人	5 配偶者・パートナー	9 祖父母
2 子	6 きょうだい	10 その他
3 父	7 孫	（具体的に：
4 母	8 子の配偶者	）

Q8 ご本人の性別をお答えください。（○はひとつだけ）

1 男性	2 女性	3 わからない・どちらともいえない
------	------	-------------------

Q9 ご本人の年齢をお答えください。（○はひとつだけ）

※ 過去にひきこもりの状態であった方は、当時その状態となった時の年齢をお答えください。

1 中学生以下	5 30～34歳	9 50～54歳	13 70～79歳
2 15歳（中学生含まない）～19歳	6 35～39歳	10 55～59歳	14 80～89歳
3 20～24歳	7 40～44歳	11 60～64歳	15 90歳以上
4 25～29歳	8 45～49歳	12 65～69歳	

Q10 ご本人の「人との交流状況」で、あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

※ 過去にひきこもりの状態であった方は、当時の状況についてお答えください。

1 近隣住民と挨拶を交わすことはある	4 家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない
2 趣味や遊びのために人と会うことはある	5 家族ともほとんど会話がな
3 会うことはないが、SNS・インターネット等を通じて人と交流している	6 支援機関との交流はある

Q11 ご本人の「外出状況」で、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

※ 過去にひきこもりの状態であった方は、当時の状況についてお答えください。

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1 一人で趣味や遊びのために外出することはある | 5 家族と一緒に外出することはある
(一人では外出しない) |
| 2 一人で散歩に出かけることはある | 6 自室からは出るが、家からは出ない |
| 3 一人で買い物に出かけることはある
(生活に必要なことのみ) | 7 自室からほとんど出ない |
| 4 特定の友人と外出することはある | 8 定期的に医療機関への通院やカウンセリング
に出かけている |

Q12 ご本人が現在の状態となってどのくらい経ちますか。(○はひとつだけ)

※ 過去にひきこもりの状態だった方は、その状態がどのくらい続きましたか。

- | | | | |
|------------|-----------|-------------|--------------|
| 1 6か月未満 | 4 2年～3年未満 | 7 7年～10年未満 | 10 20年～25年未満 |
| 2 6か月～1年未満 | 5 3年～5年未満 | 8 10年～15年未満 | 11 25年～30年未満 |
| 3 1年～2年未満 | 6 5年～7年未満 | 9 15年～20年未満 | 12 30年以上 |

Q13 ご本人が、現在の状態に至ったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

※ ご本人以外の方が答える場合は、ご本人が現在の状態に至ったきっかけとして思いあたるものをお答えください。

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| 1 学校に馴染めなかった・不登校 | 10 妊娠又は育児をすることになった |
| 2 学生時代に友達から言葉や態度等で傷つけられることがあった | 11 介護・看護を担うことになった |
| 3 受験に失敗した(高校・大学等) | 12 転居、家族構成の変化など差し迫った事情 |
| 4 就職活動がうまくいかなかった | 13 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による環境の変化 |
| 5 職場の仕事内容が合わなかった | 14 その他
(具体的に：) |
| 6 友人との人間関係がうまくいかなかった | |
| 7 職場の人間関係がうまくいかなかった | |
| 8 長期に療養を要する病気や怪我をした | 15 特にない |
| 9 退職した(休職含む) | 16 わからない |

Q14 ご本人が現在の状態に至る前に、必要であったと思うものや支援について、あてはまるものをお答えください。(○はいくつでも)

※ ご本人以外の方が答える場合は、必要であったと思われるものや支援をお答えください。

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1 不安や悩み、弱音を話すこと | 4 心身の不調を相談できる専門家や支援員 |
| 2 立ち止まったり、休養してもよいという
周囲からの声かけ | 5 同じ悩みを持つ人との交流 |
| 3 気軽に相談や話しができる相談窓口の存在 | 6 その他
(具体的に：) |

Q15 現在の状態について、相談していた（相談中も含む）ことはありますか。また、どこに相談しましたか。（〇はいくつでも）

※ ご本人以外の方が相談した場合も含みます。

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1 健康福祉センター | 10 職業安定所（ハローワーク）・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関 |
| 2 いたばし生活仕事サポートセンター（自立相談支援機関） | 11 東京都ひきこもりサポートネット（ひきこもり地域支援センター） |
| 3 福祉事務所 | 12 当事者の会・家族会 |
| 4 発達障がい者支援センター（あいポート） | 13 社会福祉協議会 |
| 5 学校関係者（担任・養護教諭・スクールカウンセラー等） | 14 おとしより相談センター |
| 6 心理相談（教育支援センター）・板橋フレンドセンター | 15 民間の支援団体 |
| 7 子ども家庭総合支援センター（旧 子ども家庭支援センター） | 16 その他
（具体的に： |
| 8 病院・診療所 | 17 相談していない・相談したことはない |
| 9 インターネットを介した交流サイト、SNS・LINEなどのチャット | |

次ページのQ18へ

【Q15で「1～16」に〇をつけた方のみ、Q16～Q17にお答えください。】

Q16 相談機関に相談した内容はどのようなことですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1 学校での人間関係 | 8 家族との人間関係 |
| 2 学校の勉強面や受験に関すること | 9 介護・看護に関すること |
| 3 就職活動に関すること | 10 妊娠・育児に関すること |
| 4 職場での人間関係 | 11 その他
（具体的に： |
| 5 友人との人間関係 | 12 わからない |
| 6 心理・精神面（不安・イライラする）の悩み | |
| 7 生活面（収入・仕事）に関すること | |

Q17 相談機関に相談した結果について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

Q18 ひきこもりの状態を変えるために、行っていることはありますか。(〇はひとつだけ)
 ※ 過去にひきこもりの状態であった方は、変えるために行っていたことはありますか。

<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">1 ある</div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">2 状態を変えたいが、何をしたらよいかわからない</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">3 ない、このままの状態でよい</div>
Q20へ	
【Q18で「1」に〇をつけた方のみ、Q19にお答えください。】	

Q19 その行動を起こしたきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

1 体調の回復 2 家族や友人等からの働きかけ 3 家族や友人以外の人からの働きかけ (具体的にどなたですか：) 4 相談窓口や支援の存在を知ったこと 5 生活資金の減少	6 インターネット・SNS・LINE・チャットからの情報 7 転居、家族構成の変化など差し迫った事情 8 このままではいけないという焦り 9 その他 (具体的に：)
--	--

【Q20～Q22はすべての方がお答えください。】

Q20 ひきこもりの状態を変えるために、必要であったり、役に立つと思うものすべてに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

1 ひきこもりに関する相談窓口 2 生活全般に関する悩みを相談できる相手 3 経済的な悩みを相談できる相手 4 就労（仕事探し）の悩みを相談できる相手 5 友だちや仲間づくり 6 気軽に参加できる趣味や体験活動の場 7 家以外で安心・安全だと感じられる居場所 8 身体面又は精神面について専門機関への相談 9 同じ悩みを持つ当事者や家族が集う居場所、つながり 10 ひきこもりの状態を経験したことがある方の体験談	11 学ぶ機会の確保 12 自立に向けたトレーニングやきっかけが掴める場 13 家以外の生活の場 14 相談に乗ったり、支援機関に同行してくれる人 15 就労に向けた準備、働く場所の紹介 16 その他 (具体的に：) 17 わからない 18 特に必要と感じるものはない 19 変える必要はない、今のままでよい
---	---

Q2 1 ひきこもりに関することで悩む方々に対し、どのような支援等があるとよいと思いますか。
(〇はいくつでも)

1 ひきこもりに関する相談窓口	11 同じ悩みを持つ家族や本人が集まる当事者会の紹介
2 無料で参加できる趣味や体験活動の場	12 学ぶ機会の確保
3 家以外で安心・安全だと感じられる居場所	13 無料で利用できる心の悩みの公的相談窓口
4 本人宅などへの訪問相談・同行支援	14 人間関係の対応方法を学べる場
5 就労に向けた準備活動、働く場所の紹介	15 ひきこもりやその対応について学ぶ機会
6 在宅ワークを紹介するサービス	16 家以外の生活の場
7 お金のかからない職業訓練の機会	17 自立に向けたトレーニングやきっかけが掴める場
8 生活困窮時の生活資金の公的支援	18 仲間づくりができる居場所
9 家計や生活設計の支援	19 その他
10 福祉や生活困窮等の行政サービスの紹介や手続きの支援	（具体的に：）

Q2 2 現在、板橋区では、身体の病気以外の理由で、ふだん外出ができない方たちへの支援のあり方を検討しています。こうした支援のあり方について、ご意見があれば自由にお書きください。

【質問は以上で終了です。ご協力いただき誠にありがとうございました。】

インターネットでご回答いただいた方は、この調査票の返送は不要です。